

東成区地域生活支援システム「専門分野別実務者会議」会議要旨

●会議区分：障がい者支援

●開催回次：平成27年度 第1回

1. 開催日時

平成27年4月16日（木） 10：30～12：15

2. 開催場所

東成区役所 会議室

3. 出席者

【委員】

東成区障がい者相談支援センター（1名）、精神障害者地域生活支援センターすいすい（1名）、大阪市知的障がい者相談員（2名）、東成区歯科医師会（1名）、東成区民生委員協議会（1名）、ひがしなり WELL-LINE（地域福祉活動サポーター：2名）、東成区社会福祉協議会（1名）

【その他】

オブザーバー（1名）

4. 会議要旨

(1) 平成27年度実務者会議（障がい者支援）委員紹介および議長選出

- ・事務局より各委員の所属および氏名紹介を行い、今年度より新たに就任した委員から自己紹介を行った。
- ・前年度に引き続き、東成区社会福祉協議会 見守り支援ネットワークカー 殿井氏が満場一致で議長に選出された。

(2) 事務局からの報告

- ・人事異動に伴う事務局体制の変更を報告。
- ・本実務者会議および地域生活支援システムについて説明を行った。
- ・東成区の平成27年度の障がい福祉関係予算の報告。
 - ・地域保健・地域福祉推進支援事業 598千円(専門分野別実務者会議含む)
 - ・東成区発達障がい児支援事業 5,549千円
 - ・東成区地域自立支援協議会関係事業 510千円
 - ・「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業 31,189千円
 - ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 18,595千円

(3) 地域自立支援協議会等についての報告

- ・林委員より近況報告をいただいた。
 - ・今年度の障がいのいろいろ相談会の開催について
 - ・医療機関マップ作成についての進捗状況について
 - ・東成ingの運営体制について
 - ・地域移行支援について

(4) 平成26年度の振り返りについて

【事務局からの報告】

○平成26年度の実務者会議および、ワーキングチーム会議での議論内容の振り返りを行った。

- ・啓発の目的：障がいがあるということが身近で、当たり前に見えるような地域を目指す。
- ・啓発の目標：これまでの啓発に加え、子どもや地域の人々が自然にふれあえる啓発の工夫を行う。

⇒まずは子どもを啓発の対象とし、東中本・宝栄校下をモデル地域としてすすめてはどうか。また、地域の活動者や専門職が相談支援活動に活かせる情報の共有・発信のための「バインダー」の作成を並行して取り組む必要があるのではないか。

- ・上記以外に出た意見についても順に検討を行う必要がある。
 - ① 行政から情報提供のあった要援護者やおまもりネット登録者へのアプローチ
 - ② 合理的配慮について
 - ③ 当事者にとって使いやすいおまもりネット手帳
 - ④ 区民の声を拾い上げる方法について

(5) 平成27年度の取り組みについて

- ・前回議論を踏まえ、各委員より今年度の取り組みについて何から優先的にすすめるべきか、意見交換を行った。

～各委員からの主な意見～

- ・子どもを対象に啓発をすすめるのであれば、学校がどこまで受け入れ可能かは分からないが、学校を巻き込んで取り組みを進める必要がある。
- ・学校がすすめている方向性とかけ離れたものにならないよう注意が必要。
- ・年齢によって理解力に差があるため、対象学年を絞る必要がある。
- ・子どもの頃から障がい者（児）と日常的にふれあっていれば、「障がい」ということが特別なことではないと認識できるのではないかと。実際に障がい関係の事業所に職業体験などに行った時には、「普通の人と変わらない」「仕事もできるし、会話もできる」等の感想を持つ子どもも少なくない。

- ・車いす体験等も重要なことではあるが、当事者と関わるのが一番重要ではないか。
- ・学校単位で行うのが難しければ、もう少し小さな単位（子供会、クラブ活動、地域行事など）の一つとして取り組みを行ってもいいのではないか。
- ・まずは子どもを対象として、楽しめる取り組みを小さなものから始めてはどうか。小さな単位から始めることで、学校などへもアピールすることができるはず。

【確認事項】

- ・次回は、やってみたいこと、楽しめるような取り組み、子どもがたくさん集まる場所などを出しより、優先的に取り組むべき内容を検討する。
- ・上記の内容を次回会議までに各自で整理をしていただくこととする。

(6) その他

- ・委員からのアンケート結果について報告。
- ・「障がい者等の見守り活動」を考えるワークショップについて報告。
- ・民生委員への障がい者等の情報提供について報告。
- ・区民モニターによるアンケート結果について報告。
- ・有償ボランティア活動について報告。
- ・生活困窮者自立相談支援事業について説明。